

## icon CPD 制度 2022 年度 改定及び講座概要について

---

CPD 制度は、2012 年設立以来、会員 IC にどのようなスキルがあるか、自分の得意分野を対外的にアピールできるよう「スキルレベルの可視化（見える化）」を目的にスタート、継続的に学ぶ機会の提供と、対象講座にポイントが付与する事による学習実績の明確化を進めてきました。

コロナ禍の昨年 9 月実施された会員アンケートでは、約 56%が icon に「スキルアッププログラムの充実」を期待していると回答。にもかかわらず、約 82%が CPD 制度を「よく知らない」「知っているが参加していない」という結果も判明しました。

この 10 年程の活動過程においては、2017 年度と 2020 年度に一部改定を行なっていますが、オンライン開催が一般化した今、種々の課題も散見され、今後望まれる制度への改善が求められています。

能力開発 Div.では、会員が CPD 制度をより活用し易いように受講料を見直すとともに、会員が登録している各商圏（支部）のスキルアップニーズを反映した講座体系へと更新していきます。

---

### 《講座改定内容》

#### 1, 講座構成・ポイントについて

- ①.スキルアップに幅広く応えていくために「総合講座」を講座科目分類に新設、「分野別講座」、「テクニック講座」、「総合講座」で構成する。※1
- ②.昨年から実施の「インテリア英会話講座」をテクニック講座科目に編入する。
- ③.エキスパート認定対象講座については、開催体制が整い次第実施に向け活動を進める。  
ポイント有効期間は 3 年間であるが、2022 年度はカウントから除外する。  
その他の CPD 講座のポイントには有効期間制限は設けない。
- ④.ポイント取得特典として、年度中に 30P 取得した場合、次の年度でのオンライン開催 1 回分参加費を無償とする。翌年度への特典持越しは無しとする。  
ただし英会話講座については 1 レッスン 10P の付与とするが、ポイント取得特典は対象外とする。補講についてのポイント付与は無しとする。
- ⑤. 会員が講座講師を受任する場合はポイントを 20P 付与する。
- ⑥. 講座終了時に担当部署から受講者名簿を事務局と能力開発 Div.に送付する。  
事務局でポイント記載の作業を担当する。  
ポイント一覧表が HP にアップされていることを会員に知らせる。
- ⑦. ポイントの無償分と開催講座が赤字になった場合は補助費として能力開発 Div.で補填し、来期講座予定数を年度末に確認のうえ、予算化する。

### ※1、CPD 講座認定基準について

- ① 賛助企業、他企業の商品説明会（営利目的）ではないこと。
- ② 会員個人の営利目的でないこと。
- ③ 講座内容が個人への誹謗中傷にならないこと。
- ④ HP,SNS で簡単に誰でも調べられる物でないこと。
- ⑤ 会員のお楽しみ交流会が主体でないこと。
- ⑥ 会員のスキルアップになる講座であること。

### 2、受講料の変更（変更前：基本 3,000 円）

- ① リアル開催の場合、正会員は 2,000 円を基準とする。  
賛助会員は 3,000 円を基準とする。
  - ② オンライン開催の場合、正会員は アーカイブを含めて 1,000 円を基準とする。  
賛助会員は 2,000 円を基準とする。
- 注：講座種類によっては受講料の他に教材費が発生する場合がある。

### 3、オープン講座の新設（2023 年 2 月 22 日中四国支部セミナーから実施）

- ① 会員増強等を目的とした「オープン講座」を設ける。（「初級編プレ講座」の名称変更）
- ② ポイント付与は 5 ポイントとする。

各 Div・支部・研究会において「講座」「セミナー」と題するものの開催を計画する際は、事前に能力開発 Div.へ企画内容を書面にて連絡し、CPD 講座とするかについての判断は、能力開発 Div.で検討を行った上で回答、「CPD 講座開催申請書」の提出を経て、正式認定とする。

#### ■企画・運営について

世の中の変化、地域のニーズも踏まえ、幅広く拡充した講座体系を目指し、スキルアップニーズの掘り起こしを行う。

- ① カテゴリー別の講座科目分類とスキルアップの目的を明示する。  
別表参照：「2022 年度 CPD 講座概要」
- ② 分野別 3 講座以外の分野を一覧にし、スキルアップニーズを可視化する。  
別表参照：「icon スキルアップ講座体系図」
- ③ 会員からのニーズを企画立案して開催に至るまでの連携フローを確実にする。  
別表参照：「2022CPD 講座開催の流れ」「CPD 講座開催申請書」

CPD講座概要 (2022年度)

作成：2020.8.30/2023.1.18追記

能力開発Div.

講座科目分類	講座科目	目的
分野別講座	①照明講座	・ライフスタイルにふさわしい照明計画の提案が出来る。
	②ホームファニシング講座 ・室内仕上げ材 ・窓廻り ・置き家具	・安心、安全、上質な仕上げ材の提案が出来る。 ・ライフスタイルにあった窓装飾デザインの提案が出来る。 ・生活動線を考慮しながら、ライフスタイルにあった家具が出来る。
	③造作家具講座	・クライアントの要望にあったオーダー家具のデザイン、仕様の提案が出来る。(収納家具・オリジナルキッチン等)
	④インテリアオーナメント講座 ・インテリアグリーン ・テーブルウェア ・ホームリネン・ベドリネン ・アート・エクステリアエレメント	・絵画、写真、彫刻、工芸品、インテリア雑貨、小物のグリーンの取り扱い、飾り方計画などを学び暮らしのアドバイスが出来るようになる。
テクニック講座	①コーディネート技法講座 ・インテリアカラーテクニック ・プレゼンツール (3Dパース・スケッチ等)	・インテリア空間における色の効果を理解し、インテリアスタイルやイメージを表現できる。 ・クライアントに分かり易く、理解しやすいプレゼンテーションテクニックを持っている。
	②プレゼンテーション技法 ・ヒヤリング ・コンサルティング ・プレゼンテーショントーク	・クライアントの要望を理解し、ライフスタイルにふさわしいアドバイス、提案が出来る。 ・クライアントにはプロ意識を持ったコミュニケーション能力を持ち、現場への指示が的確に出来る。
	③インテリア英会話講座	・英語によるインテリアコーディネートの表現を身につけ、シチュエーションに合わせた接客ができるようになる。
総合講座	*新たなテーマでの講座のニーズがあれば 都度開催検討対象とする (体系図：点線枠講座名参照)	・ICのスキルアップにふさわしい実践的で有益な内容 ・世の中の変化、地域・商圈毎のニーズに適った内容 (CPD講座開催申請書：目的と効果欄に明記)

■ iconスキルアップ講座 体系図 2022年度

\*実線枠：既実施CPD講座  
\*点線枠：新規CPD検討分野

